

# 流域治水プロジェクトについて

令和4年6月6日

九頭竜川・北川流域治水協議会  
福井県二級水系流域治水協議会

# 九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があります。国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。（※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続総合1位）

## 位置図



### 凡例

- 河道掘削（河道幅幅を含む）
- 堤防拡築・築堤
- ..... 堤防強化（浸透）
- - - 捷水路・地下放水路
- 遊水地
- ダム
- 浸水範囲（整備計画規模洪水）
- ✕ S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所（国）
- ✕ S28年13号台風 堤防決壊箇所（国）
- ✕ H16年福井豪雨 堤防決壊箇所（県）
- ⇄ 大臣管理区間



## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留浸透施設の整備
- ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施（関係者：国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力（株）、電源開発（株）等）
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証
- ・調節池・校庭貯留・公園貯留等

## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 森林整備 既存15ダムの事前放流
- 既設ダムの有効活用
- 治山ダム整備 治水効果の検証
- 河道内樹木伐採 田んぼダム



## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの更新・周知と説明（想定最大規模の降雨を対象）
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
- ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
- ・水防資材の配備等

## ● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



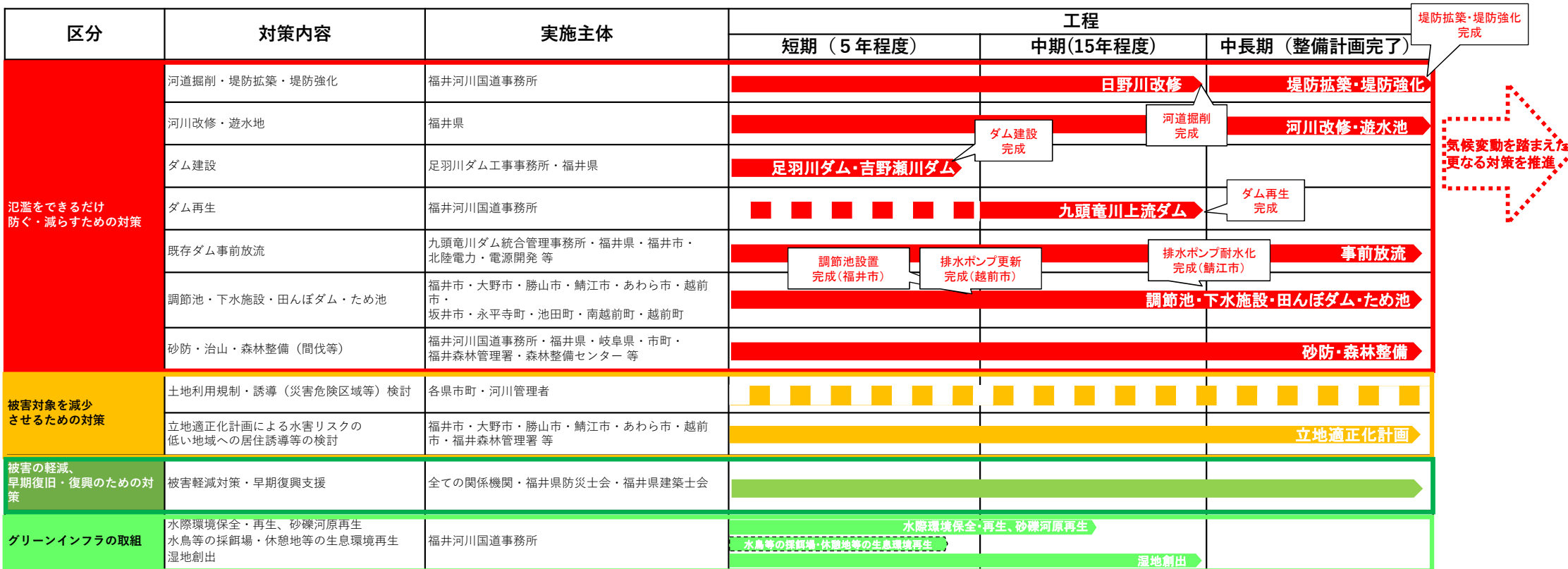
# 九頭竜川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

(2022年6月一部改訂)

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

● 九頭竜川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。あわせて、県庁所在地である福井市を含めた広大な氾濫原を有する特徴を踏まえ、安全なまちづくり（立地適正化計画に基づく防災指針の検討等）や内水被害軽減対策（雨水排水施設整備等）、調節池・田んぼダム等の流域対策、地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。SDGsに位置付けた持続可能な流域治水により、福井県の幸福度日本一の担保に寄与。

- 【短期】 「足羽川ダム建設」・「吉野瀬川ダム建設」と「日野川改修」により、日野川筋の浸水リスクを低減。
- 【中期】 既存ストックの活用で早急に洪水調節機能を向上させる「九頭竜川上流ダム再生」により、本川筋の浸水リスクを低減。
- 【中長期】 九頭竜川全域で必要な「堤防拡築」を完成させ流域全体の治水安全度向上を図る。



気候変動を踏まえた更なる対策を推進

## 【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策	全体事業費 約2,484億円 ※1
対策内容	河道掘削、堤防拡築、堤防強化、遊水地等
■砂防対策	全体事業費 約24億円 ※2
対策内容	砂防堰堤の整備、治山ダム等の整備等
■下水道対策	全体事業費 約318億円 ※3
対策内容	排水施設の更新、雨水貯留施設の設置等

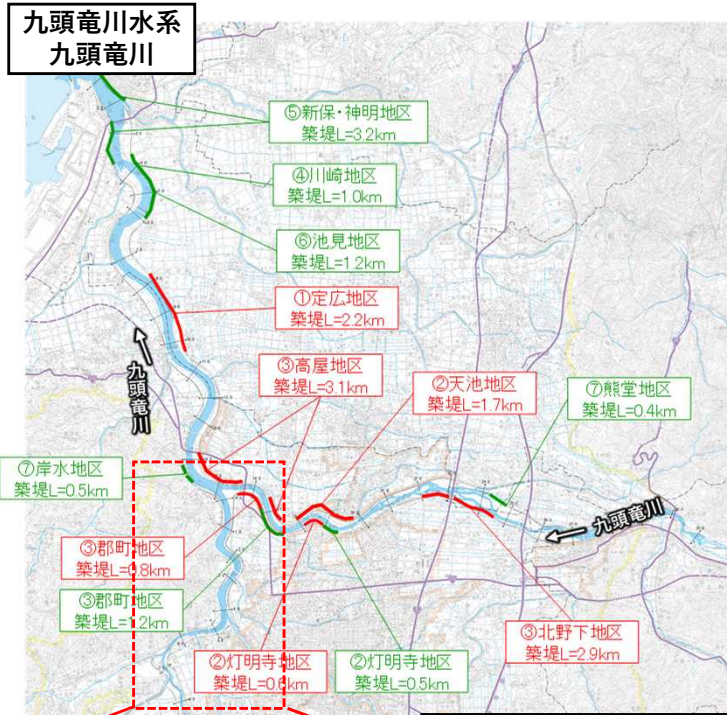
※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載  
 ※2：直轄砂防事業の残事業費を記載  
 ※3：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

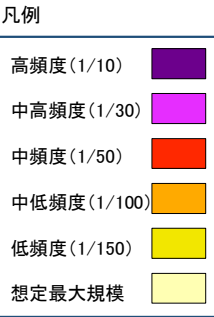
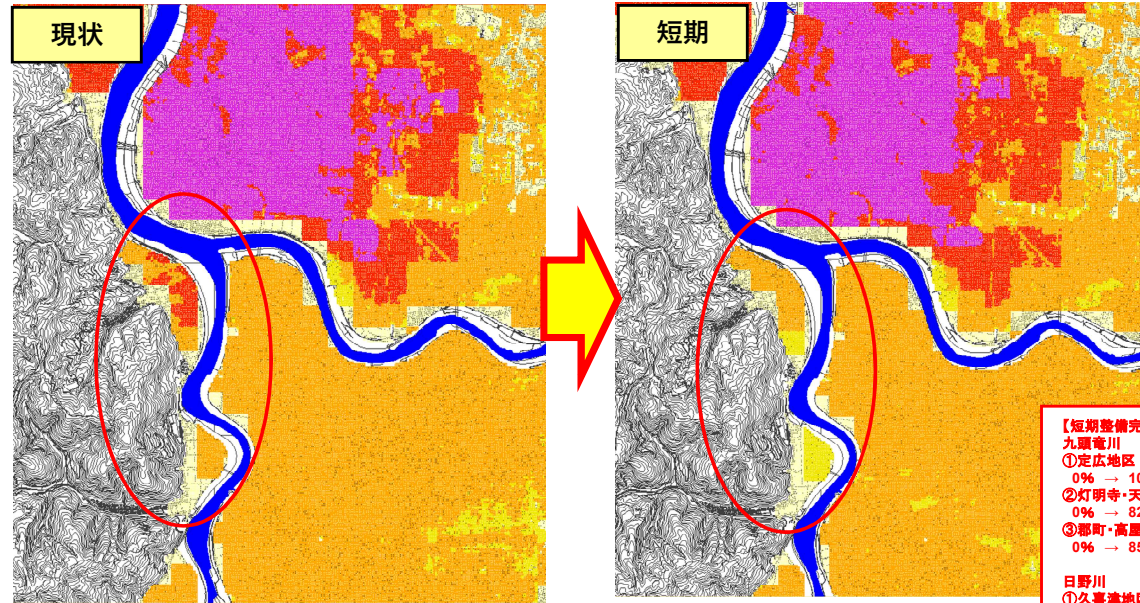
# 九頭竜川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

**短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約46%→約55%**



日野川朝宮地区の河道掘削により、福井市街地における治水安全度を向上。  
R8の足羽川ダム(1期)の完成により、九頭竜川流域の治水安全度を向上。



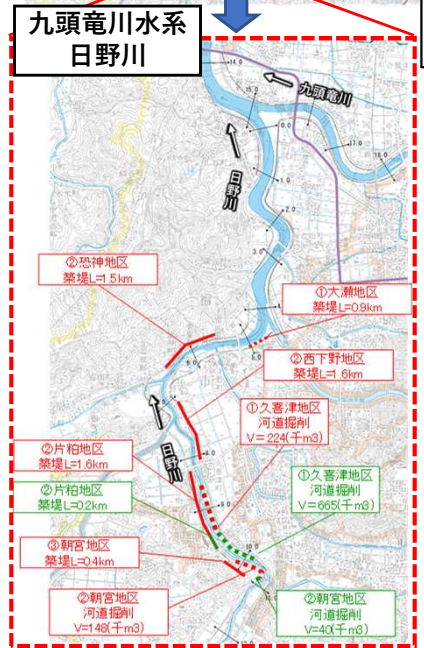
**【短期整備完了時の進捗】**

**九頭竜川**

- ①定広地区 堤防拡築 0% → 100%
- ②灯明寺・天池地区 堤防拡築 0% → 82%
- ③郡町・高屋・北野下地区 堤防拡築 0% → 85%

**日野川**

- ①久喜津地区 河道掘削 0% → 25%
- ②朝宮地区 河道掘削 0% → 78%
- ③大瀬地区 堤防拡築 0% → 100%
- ④恐神・西下野・片粕地区 堤防拡築 0% → 96%
- ⑤朝宮地区 堤防拡築 0% → 100%



5カ年加速化メニュー：赤字  
整備計画残メニュー：緑字

※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/150確率年の降雨及びその降雨を1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。  
※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、足羽川等支川の氾濫は考慮していない。また、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。  
また、短期の図は足羽川ダムの洪水調節を含んだ浸水範囲である。

## 九頭竜川水系 九頭竜川

区分	対策内容	区間	工程	
			短期(R2~R7年)	中長期(R8~R18年)
関連事業			R3	▼足羽川ダムⅠ期完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防拡築	①定広地区	100%	100%
		②灯明寺・天池地区	82%	100%
		③郡町・高屋・北野下地区	85%	100%
		④川崎地区		100%
		⑤神明・新保地区		100%
		⑥池見地区		100%
		⑦岸水・熊堂地区		100%

## 九頭竜川水系 日野川

区分	対策内容	区間	工程	
			短期(R2~R7年)	中期(R8~R18年)
関連事業			R3	▼足羽川ダムⅠ期完了
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防拡築	①久喜津地区	25%	100%
		②朝宮地区	78%	100%
		①大瀬地区	100%	100%
		②恐神・西下野・片粕地区	96%	100%
		③朝宮地区		100%

※スケジュールは今後の予算状況や事業進捗によって変更となる場合がある。

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p><b>整備率：55%</b> (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p><b>4市町</b> (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p><b>15施設</b> (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 <b>25箇所</b> (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 <b>1施設</b> (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p><b>0市町</b> (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 <b>13河川</b> (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 <b>0団体</b> (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 <b>811施設</b> 土砂 <b>171施設</b> (令和3年9月末時点) 個別避難計画 <b>集計中</b> (令和4年1月1日時点)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### 洪水を河川内で安全に流すため、引き続き河道掘削や堤防整備を実施

- 九頭竜川水系における流域治水の一環として、堤防拡築、河道掘削等を実施し、早期に安全性の向上を図る。



河道拡幅（九頭竜川水系竹田川）

現状写真（河道拡幅前）



河道掘削（九頭竜川水系日野川）

### 被害対象を減少させるための対策

#### 洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保

- 想定最大規模降雨における洪水ハザードマップを順次作成し、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図る。



福井市 洪水・土砂災害ハザードマップ

こうなる前に 知って 備えて 行動へ



洪水・土砂災害ハザードマップ改訂

### 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

#### マイ・タイムライン、マイ防災マップ作成支援

- マイ・タイムライン、マイ防災マップの作成支援を実施することで地域防災力の向上を図る。

#### 小学校への出前講座



#### ワークショップの開催





マイ防災マップの作成



マイ・タイムラインの作成

# 北川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、北川水系においても、幸福度\*日本一の福井を洪水から守るため、古くから霞堤に守られた地域だからこそ更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。（※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続総合1位）

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防強化、堤防拡築、河道内樹木伐採
- ・水防拠点の整備
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留浸透施設の整備
- ・調節池
- ・河内川ダムにおける事前放流等の体制構築、実施（関係者：国、福井県、小浜市、若狭町等）
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域
- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・霞堤の機能維持保全・輪中堤

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの更新・周知（想定最大規模の降雨を対象）
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策・水位計、量水標、カメラ設置
- ・水防資材の配備等



凡例

○	頭首工
●	霞堤
—	河道掘削
—	堤防拡築
—	堤防強化(侵食)
—	堤防強化(浸透)
—	輪中堤
—	浸水範囲(整備計画規模洪水)
×	S28年13号台風堤防決壊箇所(国)
×	H25年18号台風堤防決壊箇所(県)
□	大臣管理区間



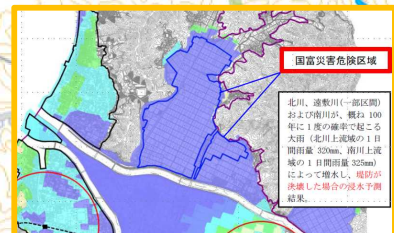
河道掘削(国)



霞堤防の維持保全(国)



江古川地区の輪中堤整備(福井県)



災害危険区域の設定区域(小浜市)

- 霞堤の機能維持保全
- 河道内樹木伐採
- 治山ダム整備
- 田んぼダム・森林整備
- 土地利用規制等の検討
- 立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための各種対策
- 治水効果の検証

## ● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



多様な動植物等の生育・生息環境の再生



森林整備(国、県、森林整備センター)



マイ・タイムライン作成支援(国)



避難確保計画作成支援(国、県、市)

※具体的な対策内容については、今後の調査検討等により変更となる場合があります。

# 北川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

## ●グリーンインフラの取り組み 『多様な動植物が生育・生息・繁殖する自然環境の再生』

- 全国名水百選として“瓜割の滝”と“鶉の瀬”という名水所があり、豊かできれいな水と美しい緑に恵まれている北川水系は多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、北川水系は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- 北川水系において、水際植生等の動植物の生息・生育・繁殖する自然環境を再生するため、今後、概ね5年間でアユ等の産卵場の保全など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●治水対策における多自然川づくり  
多様な動植物等の生育・生息環境の再生  
アユ、サケの産卵場の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組  
小中学校などにおける河川環境学習



多様な動植物等の生息・生息環境の再生

小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】  
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査検討等により変更となる場合があります。



# 北川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

● 北川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。あわせて、一部の氾濫原における洪水氾濫を許容する霞堤を維持保全する地域特性を踏まえ、更に輪中堤の整備と土地利用規制による流域対策や、安全なまちづくり（立地適正化計画に基づく防災指針の検討等）や既存ダムの事前放流等の流域における対策、地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。SDGsに位置付けた持続可能な流域治水により、福井県の幸福度日本一の担保に寄与。

【短期】 河床掘削（水取地区・高塚地区）と遠敷川合流点の水位低下方策の整備及び輪中堤の整備により、浸水リスクを低減。

【中長期】 北川全域に必要な「堤防拡築」により、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期（5年程度）	中長期（整備計画完了）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	福井河川国道事務所	水取地区	高塚地区
	遠敷川合流点の水位低下方策	福井河川国道事務所	河道掘削完成	水位低下方策完成
	堤防拡築・堤防強化	福井河川国道事務所	堤防拡築・堤防強化完成	遠敷川合流点
	下水施設	小浜市		堤防拡築・堤防強化
	既存ダム事前放流	福井河川国道事務所・福井県・小浜市・若狭町等		下水施設
	砂防・治山・森林整備（間伐材）	福井県・滋賀県・市町・福井森林管理署・森林整備センター等		事前放流
被害対象を減少させるための対策	災害危険区域	小浜市		砂防・森林整備
	土地利用規制・誘導（災害危険区域等）検討	各県市町・河川管理者		
	立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討	小浜市		立地適正化計画
	霞堤維持保全	福井河川国道事務所・小浜市・若狭町		
	輪中堤	福井県	江古川地区	輪中堤完成
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策・早期復興支援	全ての関係機関・福井県防災士会・福井県建築士会		
グリーンインフラの取組	多様な動植物等の生育・生息環境の再生アユ、サケの産卵場の保全	福井河川国道事務所		生息・生育環境の保全

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

## 【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■ 河川対策	全体事業費 約38億円 ※1
対策内容	河道掘削、堤防拡築、堤防強化 等
■ 下水道対策	全体事業費 約4億円 ※2
対策内容	下水道管渠の整備、雨水貯留施設の整備 等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載  
 ※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

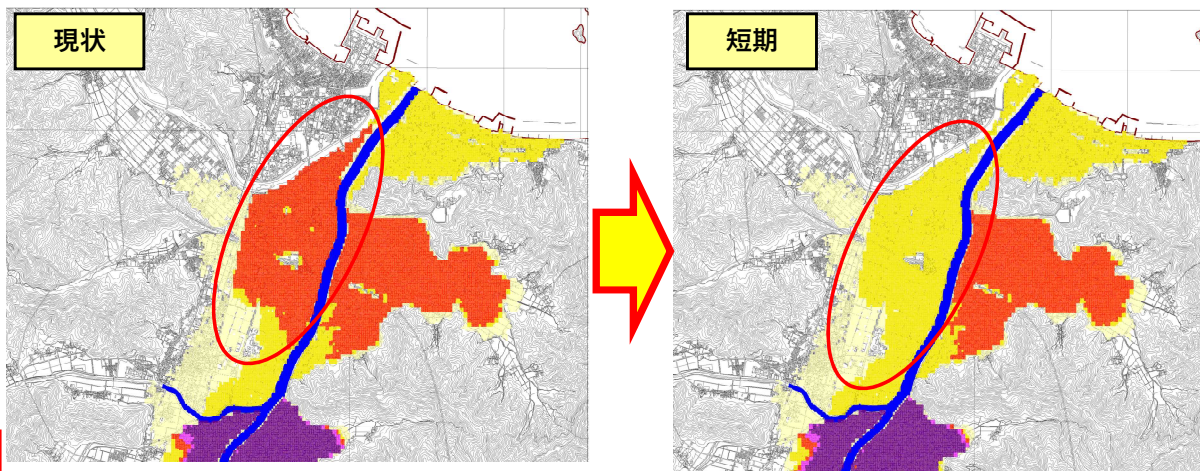
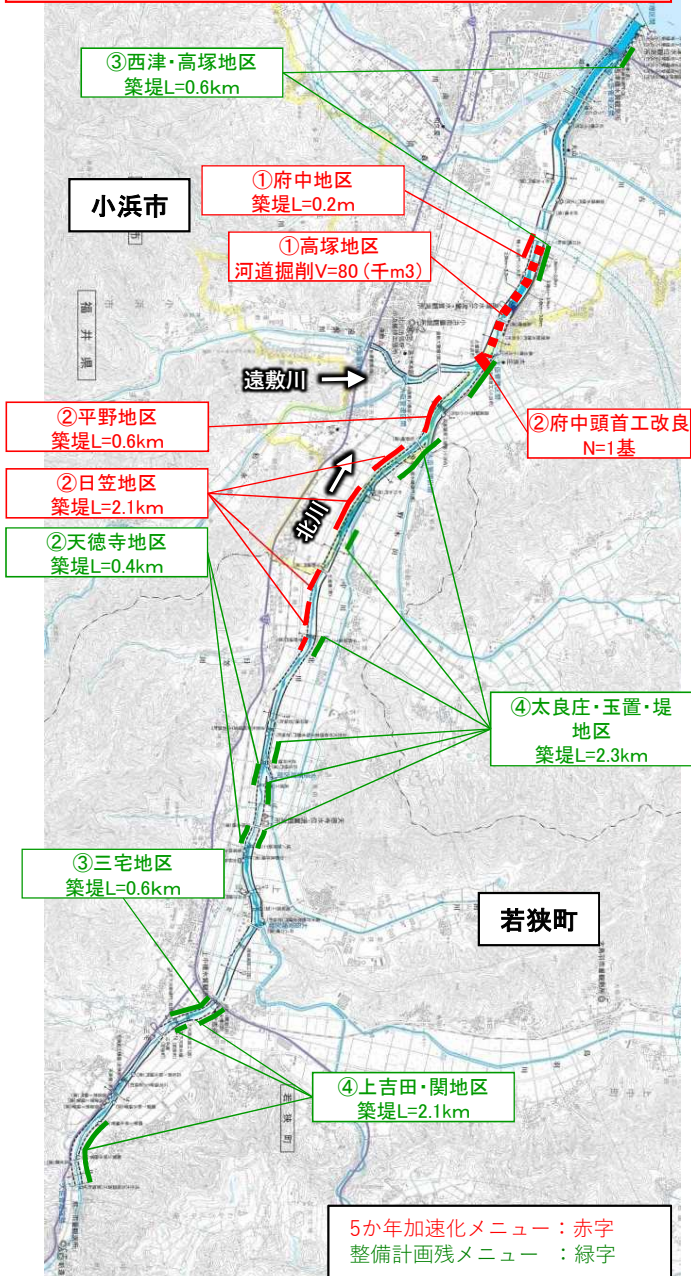
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 北川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

**短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約52%→約79%**

水取地区及び高塚地区の河道掘削により、小浜市域における治水安全度を向上。



※この図は、河川の長期計画（河川整備基本方針）で計画対象としている1/100確率年の降雨及びその降雨を1/10, 1/30, 1/50, 1/100の確率年とした場合に想定される浸水範囲であり、河川整備計画で目標とする降雨により想定される浸水範囲と一致しない場合がある。  
 ※国直轄区間からの外水氾濫のみを想定したものであり、多田川等支川の氾濫は考慮していない。また、浸水範囲の軽減効果は、国の整備効果のみを反映している。

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R2~R7年)	中長期 (R8~R21年)
関連事業			R3	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削 0% → 100%	①水取地区	100%	
		①高塚地区		100%
	頭首工改良	②府中地区		100%
		堤防整備	①府中地区	100%
	②平野・日笠・天徳寺地区		87%	100%
	③三宅地区			100%
	③西津・高塚地区			100%
	④太良庄・玉置・堤地区			100%
	④上吉田・関地区			100%

【短期整備完了時の進捗】  
 河道掘削  
 ①高塚地区 河道掘削 100%  
 頭首工改良  
 ②府中地区 100%  
 堤防整備  
 ①府中地区 100%  
 ②平野・日笠・天徳寺地区 87%

5か年加速化メニュー：赤字  
 整備計画残メニュー：緑字

※スケジュールは今後の予算状況や事業進捗によって変更となる場合がある。

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p><b>整備率：79%</b> (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p><b>0市町</b> (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p><b>3施設</b> (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 <b>3箇所</b> (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 <b>0施設</b> (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p><b>0市町</b> (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 <b>2河川</b> (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 <b>1団体</b> (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 <b>66施設</b> 土砂 <b>36施設</b> (令和3年9月末時点) 個別避難計画 <b>集計中</b> (令和4年1月1日時点)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**洪水を河川内で安全に流すため、引き続き河道掘削や堤防整備を実施**

- 北川水系における流域治水の一環として、河道掘削等を実施し、早期に安全性の向上を図る。



河道掘削(北川水系北川)



堤防整備(北川水系北川)

### 被害対象を減少させるための対策

**土地利用一体型水防災事業**

- 江古川流域で頻発する浸水被害を軽減させるため、早期に事業効果を発現できる輪中堤により住宅地を囲むことで、家屋の浸水被害の解消を図る。



整備イメージ図(輪中堤)  
輪中堤 T.P. +2.75m  
市道丸山奈胡線



輪中堤整備(北川水系江古川)

### 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

**要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進支援**

- 流域内の小浜市、若狭町にて要配慮者利用施設を対象とした避難確保計画作成支援講習会を実施。



会場:小浜市域



会場:若狭町域

国、県、市による避難確保計画作成支援

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。

# 洪水を河川内で安全に流す対策(国)

令和3年度は、洪水を河川内で安全に流すため、引き続き河道掘削や堤防整備を実施しました。令和4年度も引き続き実施します。

## 【国取組】

平成30年度に改定した「国土強靱化基本計画」に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための5か年緊急対策」（令和2年12月閣議決定）を、令和3年度から令和7年度までの5か年で実施。

令和3年度の実施内容

- ・河道掘削
- ・堤防拡築

## 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

- ・日野川水防災・湿地創出事業 ※1
- ・九頭竜川・日野川フェニックス堤防整備事業 ※2
- ・北川下流域浸水対策事業 ※3



北川 高塚地区  
(河道掘削)  
※3

北川 平野地区  
(堤防拡築)

日野川 久喜津地区、朝宮地区  
(河道掘削) ※1

日野川 恐神地区  
(堤防拡築) ※2

九頭竜川 天池地区  
(堤防拡築) ※2

九頭竜川 舟橋地区  
(堤防拡築) ※2

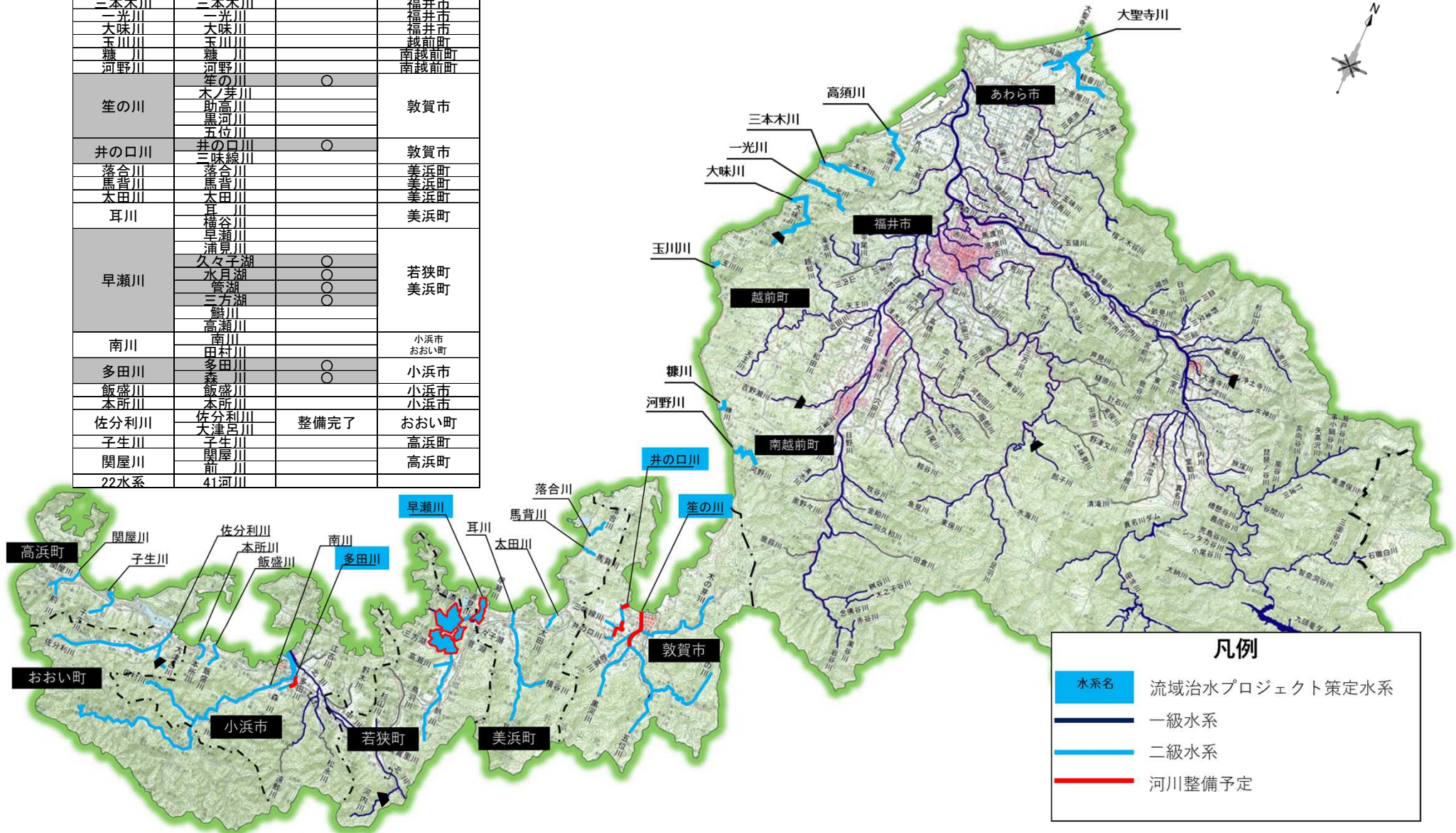
日野川 大瀬地区  
(堤防拡築) ※2



# 二級水系流域治水プロジェクトの対象水系

- 令和3年度は、**河川整備計画に基づき河川整備を実施または予定している水系**で流域治水プロジェクトを策定した。  
(笙の川水系、井の口川水系、早瀬川水系、多田川水系)

水系名	河川名	河川整備計画に基づき河川整備予定	流域内市町
大聖寺川	大聖寺川		あわら市 (石川県加賀市)
	北湯湖		
高須川	高須川		福井市
三本木川	三本木川		福井市
一光川	一光川		福井市
大味川	大味川		福井市
玉川川	玉川川		越前町
糠川	糠川		南越前町
河野川	河野川		南越前町
笙の川	笙の川	○	敦賀市
	木ノ芽川		
	助高川		
	黒河川		
	五位川		
井の口川	井の口川	○	敦賀市
	二味線川		
落合川	落合川		美浜町
馬背川	馬背川		美浜町
太田川	太田川		美浜町
耳川	耳川		美浜町
	横谷川		
早瀬川	早瀬川		若狭町 美浜町
	浦見川		
	久々子湖	○	
	水月湖	○	
	管湖	○	
南川	南川		小浜市 おおい町
	田村川		
多田川	多田川	○	小浜市
	森川	○	
飯盛川	飯盛川		小浜市
本所川	本所川		小浜市
佐分利川	佐分利川	整備完了	おおい町
子生川	大津呂川		高浜町
関屋川	関屋川		高浜町
22水系	41河川		



○昭和40年9月台風24号などで甚大な被害が発生した笙の川・井の口川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率規模\*の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



※確率規模  
笙の川:河口～木の芽川合流点 1/50  
木の芽川合流点～黒河川合流点 1/30  
井の口川:河口～安堵橋 1/50  
よんこく  
四石橋上流～大瀬川合流点 1/50

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、河道拡幅、河川浚渫
  - ・森林整備
  - ・砂防関係施設の整備
  - ・下水道施設の整備・更新
  - ・田んぼダムの整備
  - ・ため池の事前放流
  - ・雨水貯留浸透施設の整備 等

- 被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
  - ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
  - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
  - ・避難行動のための情報発信
  - ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
  - ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
  - ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
  - ・水位計・量水標、監視カメラ設置
  - ・地域防災マップの作成支援
  - ・水防資機材の配備
  - ・地域・企業の連携による避難場所の確保
  - ・コミュニティタイムラインの作成支援
  - ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
  - ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
  - ・内水ハザードマップの作成 等

- グリーンインフラの取り組み
- ・小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習
  - ・イサザ、鮎等生態系に配慮した河川工事 等



- 凡例
- 河道掘削・河道拡幅等
  - 排水施設
  - 砂防関係施設
  - △ 治山施設
  - 流域界
  - 市町境界
  - ▲ 河川カメラ
  - 水位計

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 笙の川、井の口川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
    - 【短期】井の口川上流部の河道掘削・河道拡幅や本支川の河川浚渫等により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。
    - 【中期】笙の川河口部の河道掘削および下水道ポンプ施設更新により、市街地での災害発生を防ぐ。
    - 【中長期】笙の川の整備計画や下水道の雨水幹線整備が完了することにより、流域全体の安全性向上を図る。
- あわせて、監視カメラ画像、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（河道掘削・河道拡幅・導流堤）	福井県 敦賀市	河道拡幅完成(虎谷川) 河道掘削・河道拡幅完成(井の口川)	河道掘削完成(笙の川)	河道拡幅完成(笙の川)
	森林整備	福井県 敦賀市 れいなん森林組合 森林整備センター等	治山ダム完成		
	砂防関係施設の整備	福井県	砂防堰堤完成	(検討・調整)	
	下水道施設の整備、更新 雨水貯留浸透施設の整備	敦賀市		ポンプ場更新完成	雨水幹線整備完成
	田んぼダムの整備・ため池の事前放流	福井県 敦賀市		(検討・調整)	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	敦賀市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座 水防資機材の配備	福井県 敦賀市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援	敦賀市			
	ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援			防災マップ作成完了	
グリーンインフラの取組	小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習 イサザ、鮎等生態系に配慮した河川工事	福井県 敦賀市			

■河川整備  
事業費:約90億円※  
対策内容:河道掘削、河道拡幅等  
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある

○平成25年9月台風18号などで、甚大な被害が発生した早瀬川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。





- 早瀬川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】本支川の河川浚渫により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
  - 【中期】水月湖から日本海への放水路整備により、三方五湖の水位上昇に伴う浸水被害を防止する。
  - 【中長期】流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策、減災対策等を引き続き実施する。  
あわせて、監視カメラ画像、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（湖岸堤・放水路・河川浚渫・堤防強化）	福井県	湖岸堤・放水路完成		
	森林整備	福井県 若狭町 れいなん森林組合 森林整備センター等	山腹工完成		
	砂防関係施設の整備	福井県	砂防堰堤完成	(検討・調整)	
	雨水貯留浸透施設の整備	若狭町 美浜町	(検討・調整)		
	田んぼダムの整備・ため池の事前放流	若狭町	(検討・調整)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座 水防資機材の配備 関係者間の情報共有体制の確立	福井県 若狭町 美浜町			
	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	若狭町 美浜町	防災マップ作成完了		
	グリーンインフラの取組	福井県 若狭町 美浜町			

■河川整備  
事業費：約50億円※  
対策内容：放水路等  
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

○昭和40年9月台風24号などで、甚大な被害が発生した多田川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

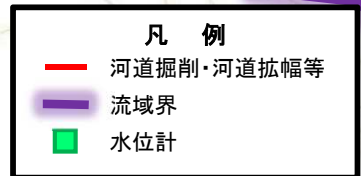


- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、河道拡幅
  - ・森林整備
  - ・砂防関係施設の整備
  - ・田んぼダムの整備
  - ・雨水貯留浸透施設の整備 等

- 被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
  - ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
  - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
  - ・避難行動のための情報発信
  - ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
  - ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
  - ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
  - ・水位計・量水標、監視カメラ設置
  - ・地域防災マップの作成支援
  - ・地域・企業の連携による避難場所の確保
  - ・水防資機材の配備
  - ・コミュニティタイムラインの作成支援
  - ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
  - ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
  - ・内水ハザードマップの作成 等

- グリーンインフラの取り組み
- ・ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 多田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】多田川の河道掘削・河道拡幅により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
  - 【中期・中長期】流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策、減災対策等を引き続き実施する。あわせて、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

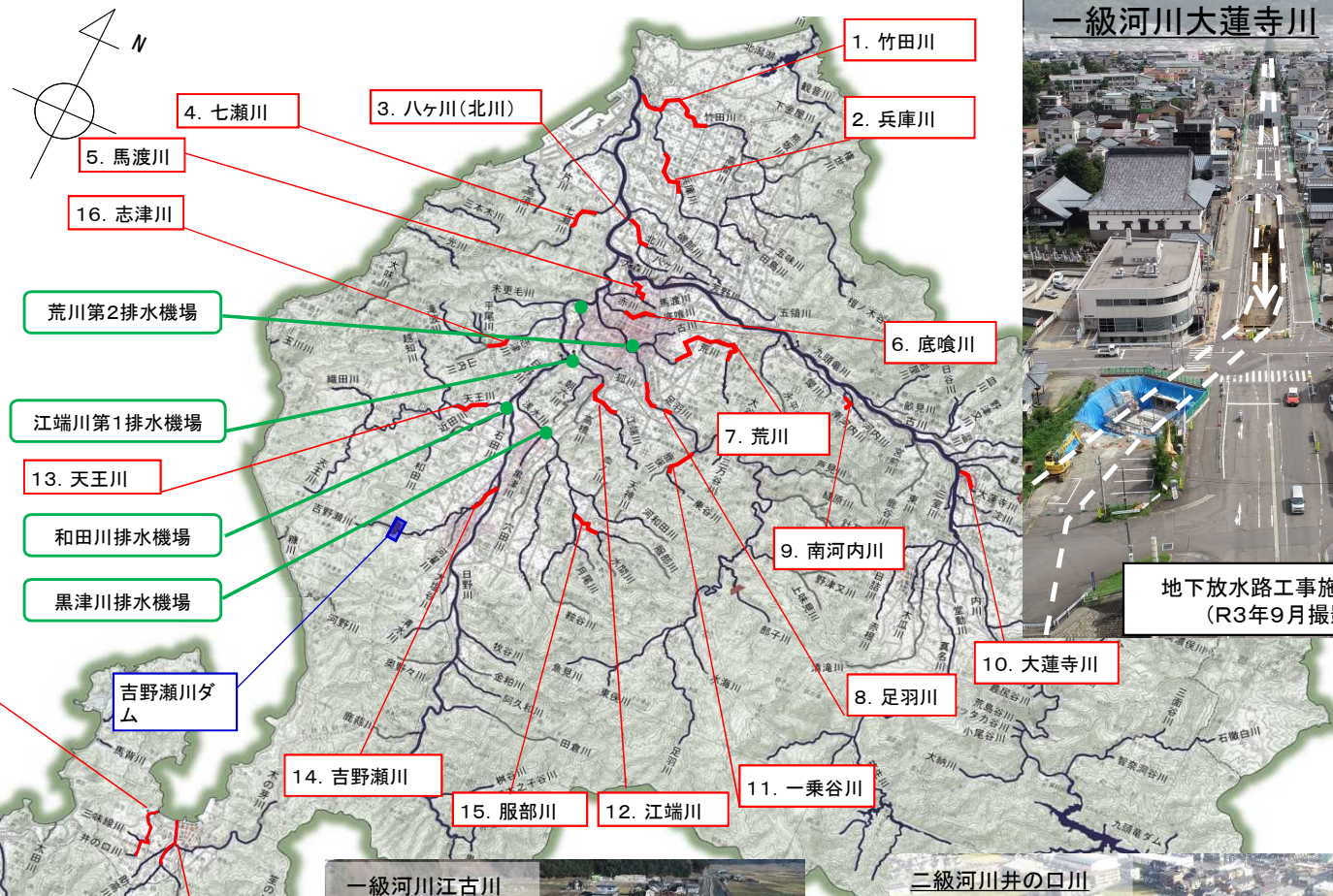
区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（河道掘削・河道拡幅）	福井県	河道掘削・河道拡幅完成(多田川)		
	森林整備	福井県 小浜市 れいなん森林組合 森林整備センター等			
	砂防関係施設の整備	福井県	(検討・調整)		
	雨水貯留浸透施設の整備	小浜市	(検討・調整)		
	田んぼダムの整備	小浜市	(検討・調整)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	小浜市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	小浜市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	小浜市	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持	福井県 小浜市			

■河川整備  
事業費：約20億円※  
対策内容：河道掘削、  
河道拡幅  
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

# 洪水を河川内で安全に流す対策（県：河川改修等）

令和3年度は、21河川の河川改修と吉野瀬川ダムの建設、排水機場の老朽化対策等を実施しました。



# 洪水を河川内で安全に流す対策（県：浚渫・伐木等）

令和3年度は、73河川の浚渫、伐木等を実施しました。

敦賀土木事務所管内

笹の川	敦賀市
木の芽川	敦賀市
助高川	敦賀市
井の口川	敦賀市
三味線川	敦賀市
馬背川	美浜町
耳川	美浜町
太田川	美浜町
鱒川	若狭町

小浜土木事務所管内

遠敷川	小浜市
多田川	小浜市
南川	小浜市、おおい町
佐分利川	おおい町
大津呂川	おおい町
関屋川	高浜町

丹南土木事務所管内

浅水川	鯖江市
黒津川	鯖江市
河和田川	鯖江市
天神川	鯖江市
河濯川	越前市
天王川	越前市
服部川	越前市
鞍谷川	鯖江市、越前市
吉野瀬川	越前市
日野川	越前市、南越前町
和田川	越前町
近田川	越前町
田倉川	南越前町
糠川	南越前町
牧谷川	南越前町
奥野々川	南越前町
河野川	南越前町
鹿蒜川	南越前町
足羽川	池田町
水海川	池田町
魚見川	池田町

三国土木事務所管内

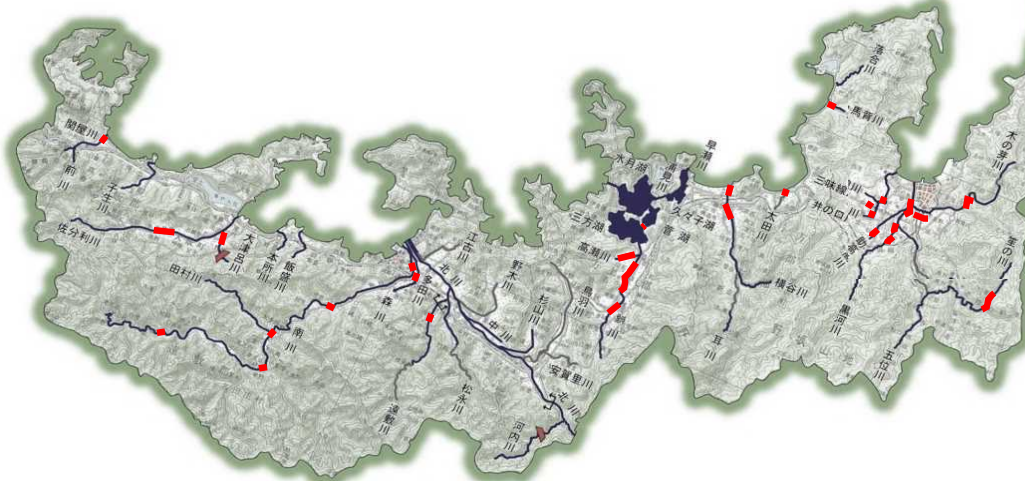
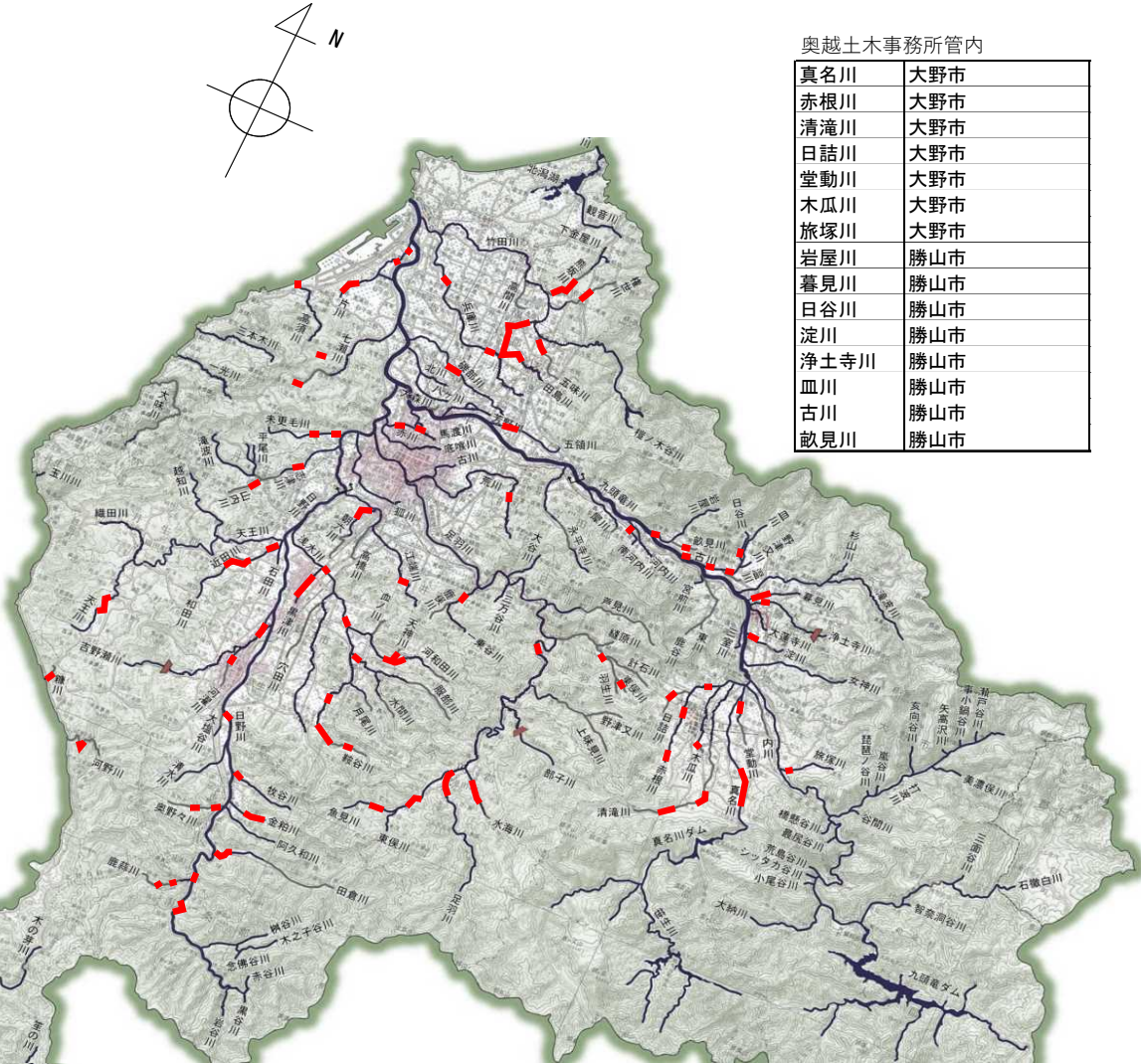
権世川	あわら市
兵庫川	坂井市
磯部川	坂井市
五味川	坂井市
五領川	坂井市
田島川	坂井市
熊坂川	あわら市
竹田川	あわら市、坂井市

福井土木事務所管内

赤川	福井市
馬渡川	福井市
片川	坂井市、福井市
七瀬川	福井市
未更毛川	福井市
志津川	福井市
山内川	福井市
朝六川	福井市
東俣川	福井市
一光川	福井市
大味川	福井市
高須川	福井市
南河内川	永平寺町
荒川	永平寺町

奥越土木事務所管内

真名川	大野市
赤根川	大野市
清滝川	大野市
日詰川	大野市
堂動川	大野市
木瓜川	大野市
旅塚川	大野市
岩屋川	勝山市
暮見川	勝山市
日谷川	勝山市
淀川	勝山市
浄土寺川	勝山市
皿川	勝山市
古川	勝山市
畷見川	勝山市



# 流域治水対策の取組み状況

## ダムの事前放流(福井県)

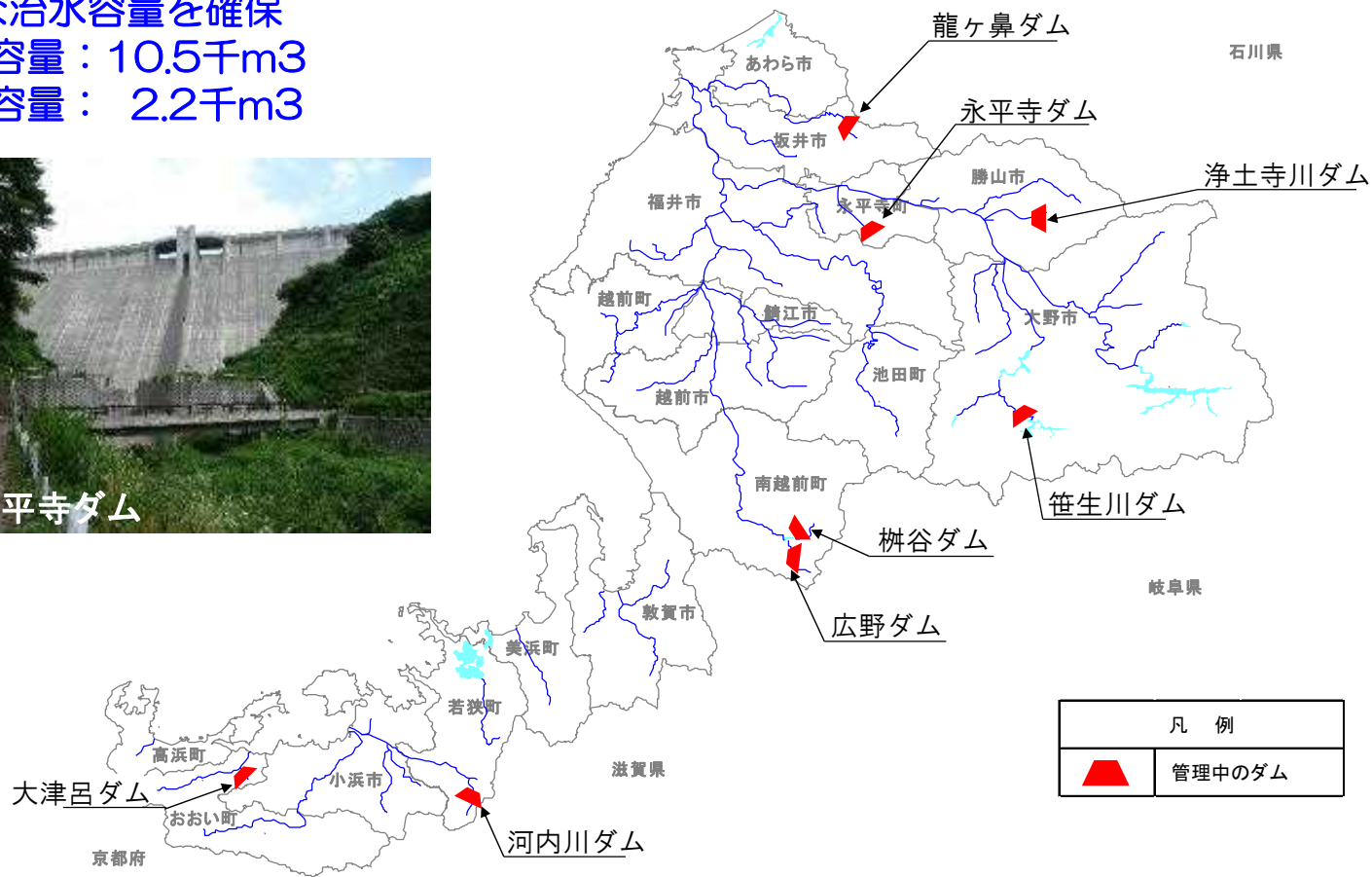
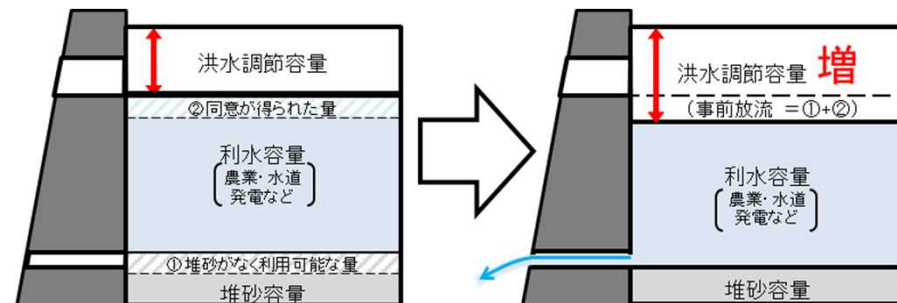
- ・ R2より、県管理8ダム全てで事前放流を開始
- ・ R3は、各利水者との協議を進め、実施前と比べ1.6倍の治水容量を確保

県管理ダムにおいて運用開始後、事前放流を2回実施し、新たな治水容量を確保

- ・ R2.7 浄土寺川ダム 確保容量：10.5km<sup>3</sup>
- ・ R3.8 永平寺ダム 確保容量：2.2km<sup>3</sup>



## <事前放流のイメージ>



凡例	
	管理中のダム

[対象ダム] 全ての県管理ダム (8箇所)

# 流域治水対策の取組み状況

## 校庭貯留(福井県)

### 事業概要

#### ・場所

県立丸岡高校 定時制(丸岡町内田)

#### ・背景

上流の丸岡町市街地(丸岡高校 定時制も含む)で浸水被害が頻発している。

その解決に向けて、県・市・地元による総合治水対策協議会が設置されている。

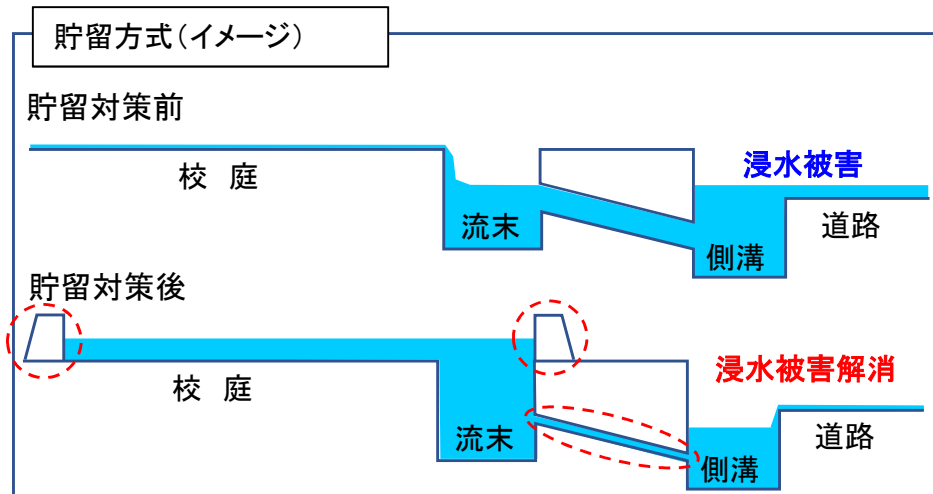
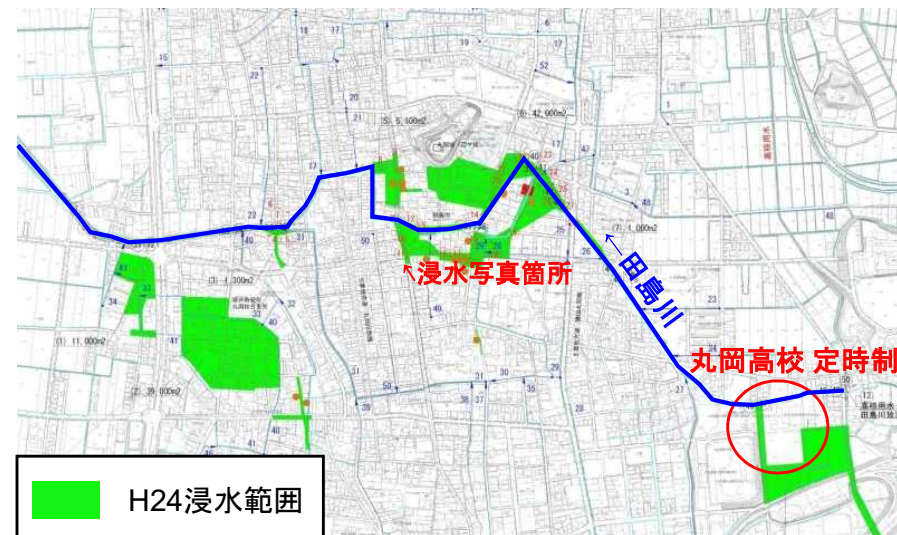
#### ・事業状況(予定)

測量設計:4~8月

学校関係者と立会いを行い、現地測量等を実施  
今後、学校関係者と協議しながら貯留量等を決定して、詳細設計を行う。

工事:11月~

小堤および流末にオリフィス等の整備を実施  
R4年度末完成予定



# 流域治水対策の取組み状況

## 公園貯留(福井市)

### 事業概要

- ・場所  
若草公園(福井市西開発2丁目)
- ・背景  
浸水が頻発しているエリアであり、地元から改善要望が上がっている。
- ・貯留量  
約1,500m<sup>3</sup>
- ・地元協議状況  
開発連合会等と協議完了(R3年度)
- ・貯留方法  
地元協議をして決定。費用が掛かるが、公園としての機能は工事前後で変わらない「地下貯留方式」を採用した。
- ・工事着手予定(緊急自債活用)  
R4年度 調節池本体工事発注準備中  
R5年度 公園復旧工事予定





# 流域治水対策の取り組み状況

## 雨水貯留タンクの設置(大野市)

### 概要

#### ・背景

大野市水循環基本計画に基づき、流域治水の推進及び水資源の適切な利用を促進する。

#### ・実施内容

幅広い世代の市民が訪れる公共施設に雨水貯留タンクの設置と効果のPRにより「流域治水」への理解と機運を醸成する

#### ・実施箇所

大野市内にある公民館9箇所

#### ・事業年度

令和4年度予定

## 令和4年度設置予定箇所

大野公民館(学びの里めいりん)

下庄公民館 乾側公民館

小山公民館 上庄公民館

富田公民館 阪谷公民館

五箇公民館 和泉公民館

農具等の清掃



非常時への備え



下庄公民館(R4年度設置箇所)



# 流域治水対策の取組み状況

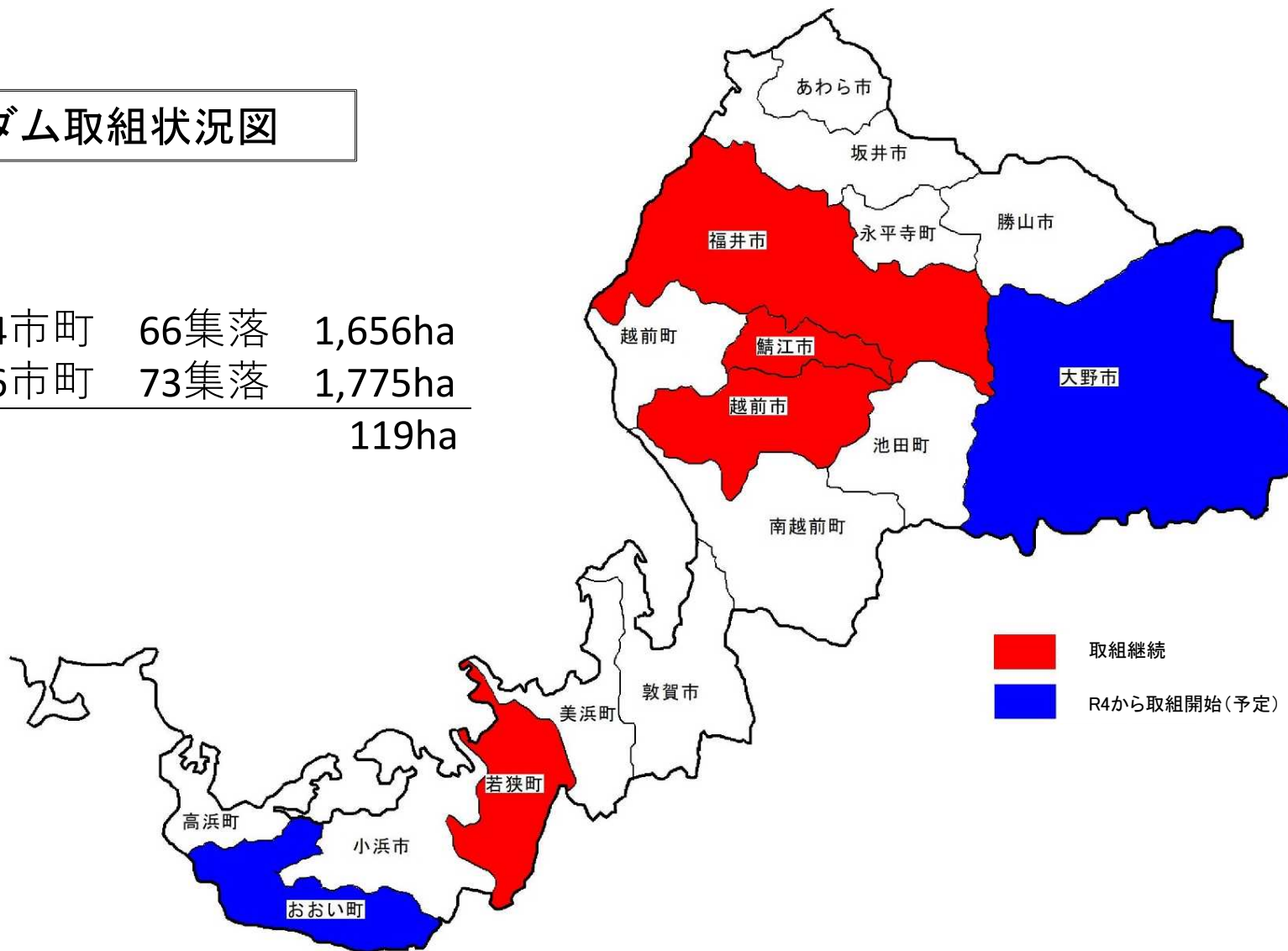
## 田んぼダム

- ・ 田んぼダムは平成24年度から始まり、令和3年度末時点で4市町、1,656ha取組んでいる。
- ・ 令和4年度からは、田んぼダム利活用促進事業を活用して、更なる取組みの拡大を図っていく。

### 田んぼダム取組状況図

#### 【取組面積】

R3末時点	4市町	66集落	1,656ha
R4予定	6市町	73集落	1,775ha
差引面積			119ha



# 農業農村整備事業における田んぼダムの取組の推進（田んぼダム利活用促進事業）

## ＜対策のポイント＞

水田の洪水防止機能の発揮によって、河川や水路の水位の急上昇を抑え、下流域の浸水被害リスクを低減させるため、あらゆる関係者が流域全体で行う協働の取組である「流域治水」の一環として水田の雨水貯留能力を高める田んぼダムの取組を推進します。田んぼダムを実施することで、近年多発する大雨災害時の下流域の浸水被害リスクを低減させることを目的としています。

## ＜事業の内容＞

### 1. 田んぼダムの導入に対する支援

#### ＜内容＞

田んぼダムの導入を促進するための整備

- ・流量調整板等の設置
- ・溝畔、畦畔（田んぼと水路や田んぼの間の盛り上げられた箇所）の補強
- ・排水路の整備（田んぼダムを実施している圃場と隣接している排水路）など

＜事業主体＞ 市町、土地改良区

＜補助率＞ 平地：国費 50%、県費 50%  
中山間地：国費 55%、県費 45%

#### 【事業要件】

- 田んぼダムの取組等を定めた計画を策定すること
- 総事業費200万円以上、農業者数2名以上、農振農用地

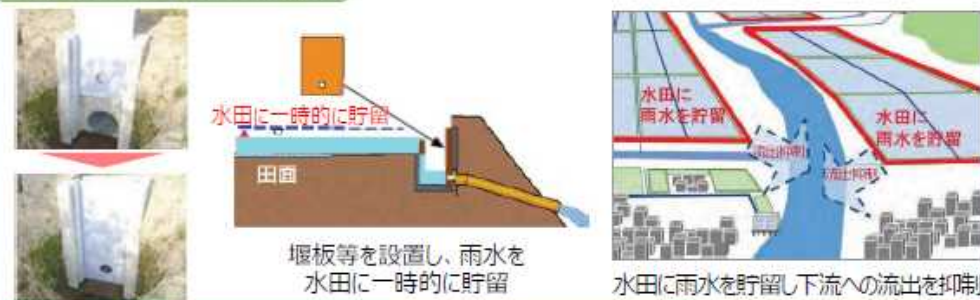
#### 【対象地域】

- ①農地中間管理機構の重点実施区域、または人・農地プランが実質化された地域内の農地（農地耕作条件改善事業で対応する場合）
- ②流域治水プロジェクトが策定・公表された水系又は当該年度中に策定・公表される見込みの水系で実施するもの
- ③治水協定の締結が完了している水系又は当該年度中に締結される見込みの水系で実施するもの
- ④地方自治体が策定・締結する防災に係る計画・協定に位置づけられたもの又は当該年度中に位置付けられる見込みのもの

※上の要件等に該当しない地域でも、県単小規模土地改良事業で対応可能な場合もあるため、ご相談ください

## ＜事業イメージ＞

### 田んぼダムの取組み



### 田んぼダムの導入に向けた支援



### 田んぼダムの効果

